

一般社団法人 日本小児臨床アレルギー学会認定

「小児アレルギーエデュケーター」の取得をお考えの皆様へ

小児アレルギーエデュケーター試験実施要項

2023 年度（第 14 期）



一般社団法人 日本小児臨床アレルギー学会

小児アレルギーエデュケーターは、一般社団法人 日本小児臨床アレルギー学会が認定する看護師・薬剤師・管理栄養士を対象としたアレルギー専門メディカルスタッフの認定制度です。高度な知識と指導技術を修得し、アレルギー専門医、多職種メディカルスタッフと協働してアレルギー疾患をもつ子供達の QOL 向上に貢献していきます。

認定取得をお考えの皆様は本要項を十分ご理解のうえお申し込みください。

一般社団法人 日本小児臨床アレルギー学会 概要

本学会は 1984 年に日本小児難治喘息研究会として発足しました。当時は有効な喘息長期管理薬もほとんどなく、多くの重症喘息児が国立療養所病院などに数か月から数年間の長期入院し、医師、看護師、心理士などと治療を行いながら“生活”をしていました。当時の研究会は、こうした子供達の治療成績の向上、QOL の向上を目的に活動をしていました。1990 年以降は様々な喘息治療薬が開発され、さらに 2000 年には小児気管支喘息に特化した治療管理ガイドラインが作成され、適切な治療を実施することで多くの喘息を患う子供達が救われるようになってきました。

一方、同じ 1990 年代にアトピー性皮膚炎ではステロイドバッシングが大きな問題となっていました。またアトピー性皮膚炎と食物アレルギーとの関係についても大きな混乱がありました。本研究会においても、これら喘息以外のアレルギー疾患もさまざまな形で取り上げられるようになってきました。このような背景から 1995 年に学会名称を、日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会と改称しました。本学会が他の学会と異なっていたのは、看護師など医師以外のメディカルスタッフの発表が多かったことです。このことは患者教育、患者支援と深く結びついていました。その後の各種アレルギー疾患の治療の進歩とガイドラインの整備は皆さまもご承知の通りです。そして実臨床において重視されているのは患者・家族がアレルギー疾患のことをよく知り、正しい治療を継続すること、すなわち高いアドヒアランスを維持することですが、当学会は医師以外のメディカルスタッフも多く参加する学会という特性からこの重要性に早くから気づいていたと言えます。

医療は単に病名を告げ、薬を処方するだけではなく、アドヒアランス向上のために必要な支援を提供する必要があります。このためにメディカルスタッフ全体での、すなわち多職種協働での支援が求められます。本学会はこの目標を達成するために高度な知識と指導技術をもったメディカルスタッフを養成していくことが大切と考え、アレルギー専門メディカルスタッフの認定制度である「小児アレルギーエデュケーター」制度を 2009 年度から開始しました。

2017 年 5 月 1 日よりこれらの事業を適切に推進していくために一般社団法人を設立し、学会名称を日本小児臨床アレルギー学会と改称いたしました。その後も今日に至るまで事業の充実を図り、アレルギー疾患診療の均てん化に貢献するように努めております。

一般社団法人 日本小児臨床アレルギー学会ホームページ <http://www.jspca.jp/>

小児アレルギーエデュケーターとは

小児アレルギーエデュケーター(Pediatric Allergy Educator, PAE)は、本学会が2009年度から開始した、アレルギー専門メディカルスタッフの認定制度です。高度なアレルギー診療の知識と、行動科学に基づいた指導技術を身につけたメディカルスタッフを認定しています。

PAEの活躍は、2014年に公布されたアレルギー疾患対策基本法第16条、第18条にも、「国は、アレルギー疾患に関する学会と連携協力し、アレルギー疾患医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者の育成を図るために必要な施策を講ずる」と記載されるまで認められています。

2022年9月現在、571名のPAEが、アレルギー疾患医療拠点病院を含む専門病院、総合病院、クリニック、調剤薬局、大学などの教育施設で活躍しています。その活動範囲は医療機関内に留まらず、地域のアレルギー関連イベント、保育所や学校関係、他団体との共同活動へと広がっています。国内のアレルギー医療の均てん化のために、アレルギーの専門的な医療体制が必ずしも充足していない地域においても、PAEの活躍は大きな成果を挙げています。

小児アレルギーエデュケーターの取得方法(概要)

PAE受験資格者は、看護師(准看護師を含む)、薬剤師、管理栄養士の資格を有する本学会の会員です。各専門職種としての臨床経験4年以上、かつアレルギー専門医又は本学会の会員である医師(以下、指導医)のもとで1年以上の被指導歴があり、現在も指導医と共に小児アレルギー疾患の診療に携わっていることが必要です。

受験希望者は、オンライン基礎講習(5~6月オンデマンド配信)とPAE受験講習会(6,7月頃)を受講します。その上で、9月上旬に行われる筆記試験に合格し、さらにレポート審査(2月末提出)に合格すると認定申請できます。認定申請までに、遡って5年以内に本学会の学術大会を含む対象学会に3回以上参加していることが必要です。認定証は、本学会の総会(7月)で授与されます。

なお、PAE認定制度は2023年度から上記のように修正され、従来よりも受験しやすくなりました。詳細は、本冊子の続きをご覧ください。

認定更新と生涯学習

PAE資格は、5年ごとに更新が必要で、そのために所定の研修単位と指導実績リストを提出します。

研修単位は、本学会の学術大会やスキルアップセミナーをはじめとする対象学会・研修会への参加や演題発表、自らが行う講演や論文発表などで得られます。各地域にはPAEが組織するブロック会活動があり、そこに参加することでも単位を得ることができます。

指導実績は、アレルギー疾患患者(成人でも可)や養育者に対する個別指導、学生や実習生に対する個別教育を行った実績リストを提出します。

PAE取得後の活動や生涯学習は、小児に限定せず、成人のアレルギー疾患も範囲となります。学術大会やスキルアップセミナーでは、成人のアレルギー疾患に関する教育プログラムも提供しています。成人を中心とした職場環境に異動しても、PAEとして身につけたアレルギーの知識と、行動科学の理論に基づいた指導技術を発揮する場面は、必ずあることでしょう。

小児アレルギーエデュケーター認定制度のスケジュールと必要条件

オンライン基礎講習

受講条件	申込時点で本学会の会員であること。申込みと同時入会を認める。
申し込み期間	3月20日（月）～4月20日（木）
実施時期	5月10日（水）～8月31日（木）
実施形態	完全オンデマンド配信
内容のポイント	受験講習会を受講する前提となる知識に関する講習です。 新エデュケーターテキストに準拠するため、テキストを購入して参照しながら受講して下さい。 (只今準備中)

PAE受験講習会

受講条件	申込み年を含む2年以内に、オンライン基礎講習を1回以上受講していること。
申込み期間	5月10日（水）～5月31日（水）
開催日	6月18日（日）、10:00～16:00
開催場所	東京、大阪（同日開講）
実施形態	グループディスカッション
内容のポイント	患者教育の理論を用いた患者指導を学ぶ

筆記試験

受験条件	1. PAE受験講習会 受講歴	申込み年を含む3年以内に、PAE受験講習会を1回以上受講していること。
	2. 臨床経験	受験年の6月1日時点で、4年以上の臨床経験（注1）があること。
	3. アレルギー被指導歴	受験年の6月1日から遡る4年以内に1年以上、指導医（注2）からアレルギー診療に関する被指導歴があること（注3）。
	4. 受験時の被指導条件	受験年の6月1日時点で、指導医からの指導を受けていること。
申込み期間	7月3日（月）～7月20日（木）	
開催日	9月3日（日）	
開催場所	東京、大阪、仙台、名古屋、福岡	

レポート審査

受審条件	申込み年を含む3年以内に、筆記試験に合格していること。
レポートの条件	別途規程による
提出期限	2月末日（締切当日必着）

認定申請

申請条件	認定申請年度を含む2年以内にレポート審査に合格していること。
学術大会参加歴	認定申請時点から遡る5年以内に、対象学会の学術大会等（注4）に3回以上参加していること（参加証明書添付）。
申請期間	5月中旬～5月31日
認定証授与	日本小児臨床アレルギー学会総会（7月）において認定証授与式を行う

注1	看護師・薬剤師・管理栄養士として、医療提供施設において、週8時間以上患者に携わる業務。留学、出産休暇、育児休暇、傷病休暇等の期間は含めないが、その前後の期間を合算できる。
注2	アレルギー専門医又は本学会の会員である医師。基盤学会が小児科でなくてもよい
注3	指導医の元で週1回以上、患者指導・栄養食事指導・処方箋に基づく患者指導等を行っていること。異動、転勤、退職、留学、出産休暇、育児休暇、傷病休暇等の期間中は含まないが、その前後の期間を合算できる。各期間における指導医が異なる場合は、申込書にそれぞれの署名が必要。
注4	日本小児臨床アレルギー学会、本学会が共催した学会、日本小児アレルギー学会、日本アレルギー学会、日本アレルギー学会地方会（年間1回を上限）、総合アレルギー講習会、臨床アレルギー講習会、食物アレルギー研究会、環境再生保全機構が行う各種研修会

2023年度 第14期PAE認定申請資格フローチャート

今年度PAE認定申請するために必要な条件

- 1) 看護師（准看護師） 薬剤師 管理栄養士であること
- 2) 本学会会員であること（2023年度からの入会で可）
- 3) 6月1日の時点で以下の条件を満たすこと。
 - (1) 臨床経験が4年以上（週8時間以上。産休、育休等 休職期間は含めない）
 - (2) アレルギー被指導歴が、指導医（本学会の会員医師又は日本アレルギー学会認定のアレルギー専門医）から4年以内に1年以上ある
 - (3)(2)の指導医から指導を受けている
- 4) 認定申請年度より、遡って5年以内に対象の学術大会等※に3回以上参加している

※2023年度申請者 対象の学術大会：

日本小児臨床アレルギー学会、本学会が共催した学会、日本小児アレルギー学会、（Web開催含む）、日本アレルギー学会、日本アレルギー学会 地方会（年間1回を上限）、総合アレルギー講習会、臨床アレルギー講習会、食物アレルギー研究会、環境再生保全機構が行う各種研修会

オンライン基礎講習 （オンデマンド配信）

<受講条件>
特なし

受講

PAE受験講習会 （対面）

<受講条件>
申込み年を含む2年以内にオンライン基礎講習を受講している

受講

東京・大阪予定

筆記試験

<受験条件>
申込み年を含む3年以内にPAE受験講習会を受講している

合格

東京・大阪・仙台・名古屋・福岡予定

レポート審査

<審査条件>
申込み年を含む3年以内に筆記試験に合格している

※レポート審査は、筆記試験合格後、所属施設において2回以上介入を行った患者についての症例報告を提出する

合格

認定申請

<申請条件>
認定申請年度を含む2年以内にレポート審査に合格している

2023年度 小児アレルギーエディケーター認定取得のスケジュール

2023年

- 3月20日（月）正午～ オンライン基礎講習申込開始
4月20日（木）正午 オンライン基礎講習申込締切
学会ホームページからの申込になります
定員になり次第終了します
※オンライン基礎講習に申し込みを希望される方で、まだ当会未入会の方は、あらかじめホームページより2023年の入会手続き（会費入金まで）をお済ませください。
入会手続きから完了まで時間がかかりますので、余裕を持ってお手続きください。
- 5月10日（水）～8月31日（木）
オンライン基礎講習（オンデマンド配信）
- 5月10日（水）正午～ PAE受験講習会 申込開始
5月31日（水）正午 PAE受験講習会 申込締切
6月18日（日） PAE受験講習会（会場：東京・大阪）
7月3日（月）正午～ 筆記試験 申込開始
7月20日（木）正午 筆記試験 申込締切
9月3日（日） 筆記試験（会場：東京・大阪・仙台・名古屋・福岡）
10月上旬 筆記試験 結果通知
10月中旬～ レポート審査 申込開始
- 2024年
- 2月29日（木） レポート審査 締切（締切当日必着）
5月中旬 レポート審査 合格者発表
5月末 認定手続き締切

<初回認定までの諸費用>

オンライン基礎講習	受講料	33,000円（税込）
PAE受験講習会	受講料	22,000円（税込）
筆記試験	受験料	11,000円（税込）
レポート審査	審査料	11,000円（税込）
認定料		22,000円（税込）

（参考）認定更新時諸費用

レポート審査	審査料	11,000円（税込）
認定料		22,000円（税込）

※金額は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

手続き関係書類

学会ホームページに随時掲載しますので、ダウンロードしてお使いください。

規約、日時、書類形式等は、更新されることがありますので、学会ホームページでご確認ください。
PAE制度に関するQ&Aは学会HPに掲載されていますので、ご参照ください。

2023 年の学術大会予定

第 39 回 日本小児臨床アレルギー学会 学術大会

会 期：2023 年 7 月 15 日（土）～7 月 16 日（日）予定

大会長：手塚 純一郎（福岡市立こども病院）

会 場：福岡国際会議場



一般社団法人 日本小児臨床アレルギー学会

Japanese Society of Pediatric Clinical Allergy

学会ホームページ： <http://www.jspca.jp/>

連絡先：メール info@jspca.jp

電話 042-320-5080

FAX 050-3153-0675

住 所：〒183-8561 東京都府中市武蔵台 2-8-29

東京都立小児総合医療センター アレルギー科内

作成日：2023 年 1 月 19 日

